

## 令和6年度 年間指導計画・評価計画

学年	2年	教科	数学科	担当者名	立入 僚之
----	----	----	-----	------	-------

### 1. 評価方法

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 定期考査</li> <li>● 単元テスト</li> <li>● 小テスト</li> <li>● 課題などの提出物</li> <li>● ワークシート</li> <li>● 授業中の発言や作業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 定期考査</li> <li>● 単元テスト</li> <li>● 小テスト</li> <li>● 課題などの提出物</li> <li>● ワークシート</li> <li>● 授業中の発言や作業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 定期考査</li> <li>● 単元テスト</li> <li>● 小テスト</li> <li>● 課題などの提出物</li> <li>● ワークシート</li> <li>● 授業中の発言や作業</li> <li>● ノート</li> </ul>

### 2. 年間指導計画

学期	月	単元名	時数	学習内容	評価規準と評価の観点
1	4 5	式の計算	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・式の計算</li> <li>・文字式の利用</li> </ul>	<p>【知】簡単な整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算をすることができる。</p> <p>【思】文字を使った式を活用して具体的な場面を考察し表現することができる。</p> <p>【主】文字を使った式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</p>
		連立方程式		<ul style="list-style-type: none"> <li>・連立方程式とその解き方</li> <li>・連立方程式の利用</li> </ul>	<p>【知】簡単な連立2元1次方程式を解くことができる。</p> <p>【思】連立2元1次方程式を活用して具体的な場面を考察し表現することができる。</p> <p>【主】連立2元1次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</p>
	2	6 7 9	1次関数	19	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次関数</li> <li>・1次関数の性質と調べ方</li> <li>・2元1次方程式と1次関数</li> <li>・1次関数の利用</li> </ul>

## 令和6年度 年間指導計画・評価計画

	9 10 11	平行と合同	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明のしくみ</li> <li>・平行線と角</li> <li>・合同な図形</li> </ul>	<p>【知】証明の必要性和意味及びその方法について理解している。</p> <p>【思】基本的な平面図形の性質を見だし、平行線や角の性質をもとにしてそれらを確認、説明することができる。</p> <p>【主】平面図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</p>
	11 12 1	三角形と四角形		<ul style="list-style-type: none"> <li>・三角形</li> <li>・平行四辺形</li> </ul>	<p>【知】証明の必要性和意味及びその方法について理解している。</p> <p>【思】三角形や平行四辺形の基本的な性質などを活用して具体的な事象を考察し、表現することができる。</p> <p>【主】平面図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</p>
	1	確率	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確率</li> <li>・確率による説明</li> </ul>	<p>【知】簡単な場合について確率を求めることができる。</p> <p>【思】確率を用いて不確定な事象を捉え、考察し表現することができる。</p> <p>【主】確率を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</p>
3	2	データの比較	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・四分位範囲と箱ひげ図</li> </ul>	<p>【知】四分位範囲や箱ひげ図の必要性和意味を理解している。</p> <p>【思】四分位範囲や箱ひげ図を用いてデータの分布の傾向を比較して読み取り、批判的に考察し判断することができる。</p> <p>【主】四分位範囲や箱ひげ図を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</p>
	2 3	学習のまとめ	9		